



大地

足寄小学校学校だより
特別号

6

令和8 (2026)
263号

挑戦する心が育つとき

校庭の木々の緑は一段と深みを増し、あじさいの花も少しずつ色づき始めました。季節は春から初夏へと移り変わり、子供たちもまた新たな成長の季節を迎えています。

先日の運動会では、多くの保護者の皆様、地域の皆様にご来校いただき、温かなご声援をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。

当日は肌寒い風が吹く一日でした。しかし、校庭にはそれを吹き飛ばすほどの熱い思いがあふれていました。

心を動かされた「挑戦する姿」

全力で走る姿。

仲間と力を合わせる姿。

最後まであきらめない姿。

その一つ一つに子供たちの成長を感じましたが、私が特に心を動かされたのは、「挑戦する姿」でした。

ある子は、練習ではなかなかうまくいかなかった種目に、本番では自ら進んで挑戦していました。

ある子は、応援団として大勢の前に立つことに不安を感じながらも、仲間とともに最後まで声を出し続けました。

またある子は、責任ある係活動に戸惑いながらも、「自分がやる」という強い気持ちで役割を果たしていました。

成功したかどうかだけではありません。

不安や緊張を抱えながらも、一歩前へ踏み出そうとする姿が何よりも輝いて見えました。

挑戦が人を成長させる

世界的な自動車メーカー「ホンダ」を創業し、数々の失敗や困難を乗り越えながら夢を実現した本田宗一郎氏は、

「チャレンジして失敗を恐れるよりも、何もしないことを恐れろ」

という言葉を残しています。

挑戦には勇気が必要です。

失敗するかもしれない。

うまくいかないかもしれない。

それでも前へ進もうとする気持ちが、人を成長させます。

今回の運動会で見られた子供たちの姿は、まさにその言葉を体現していました。

学年ごとに見られた成長

一年生は、小学校で初めての運動会に挑戦しました。

二年生は、一年生のお手本となることに挑戦しました。

三年生は、友達と協力しながら、自分たちで考え、話し合い、活動することに挑戦しました。

四年生は、仲間と意見を出し合いながら、よりよい方法を選び取ることに挑戦しました。

五年生は、自分たちの力でよりよいものを創り出すことに挑戦しました。

六年生は、学校の顔として全校を支えるリーダーの役割に挑戦しました。

どの学年にも、その学年らしい挑戦がありました。そして、その挑戦の積み重ねが大きな成長につながっていることを感じました。

自分で考え 自分で決めて 自分で行動する子

今回の運動会では、本校が目指す子どもの姿である「自分で考え 自分で決めて 自分で行動する子」が、さまざまな場面で見られました。

挑戦とは、誰かに言われてするものではありません。

自分で考えること。

自分で決めること。

そして、自分から行動すること。

子供たちは運動会という大きな行事を通して、その大切な力を確実に身に付けつつあります。

子供たちの挑戦を支える力

子供たちが安心して挑戦できるのは、多くの方々の支えがあるからです。

家庭での励まし。

地域の皆様の温かな見守り。

学校での日々の学び。

それぞれの力が重なり合うことで、子供たちは失敗を恐れず挑戦することができます。

保護者の皆様、地域の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただいておりますことに、改めて深く感謝申し上げます。

未来へ向かう子供たち

運動会は終わりましたが、子供たちの挑戦はこれからも続きます。

私たち教職員は、これからも子供たちが自ら考え、自ら決め、自ら行動しながら、自分らしい未来を切り拓いていけるよう支えてまいります。

運動会で見せてくれた輝く姿を胸に、子供たちのさらなる成長を楽しみにしています。皆様、一緒に子供たちの成長を見守り、その挑戦を励ましながら、未来へ向かう歩みを支えていきましょう。